

### 三重大学学部長・研究科長等のイクボス宣言

宣言日：2016(平成28)年10月31日

場 所：三重大学事務局棟2階会議室

立会人：板東 久美子 前消費者庁長官

[イクボス宣言の様子はこちらから](#)

宣言者	宣言文
人文学部長 安食 和宏	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 私は、すべての教職員がワーク・ライフ・バランスを考えて、それぞれの人生を十分に楽しむことを応援する「イクボス」になります。</li> <li>— 育児や介護など、教職員それぞれの家庭の事情に応じて休暇を取得しやすい職場環境づくりに努め、かつ組織として十分な成果を生み出すことを目指します。</li> <li>— 人文学部に集う多様な学生と教職員のすべてが、ともに充実した時を過ごせる、満足度の高い学部となるように、取り組みます。</li> </ul>
教育学部長 藤田 達生	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 私は、若手世代の教員を増やし、職場における教育・研究活動の活性化を志向する「イクボス」をめざします。</li> <li>— 私は、学部・大学院における教育・研究環境と、教職員の労働環境の整備・充実をめざします。</li> <li>— 私は、すべての世代の教職員が一体感と誇りをもつことができる、美しく楽しい職場環境づくりをめざします。</li> <li>— 私は、学部・大学院における男女共同参画教育を積極的に推進し、若い世代の学校教員の意識の向上を図ります。</li> </ul>
大学院医学系 研究科長 緒方 正人	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 仕事や勉学に偏らず人生全体を大切に楽しみ、また、そのような人を応援します。</li> <li>— 女性が活躍でき、子育てや介護をしながら働き学び成長できる環境を整えます。</li> <li>— 多様な価値観を尊重し、互いの理解のもとに様々な働き方を認める職場を目指します。</li> <li>— 各人各様のワーク・ライフ・バランスに目を向け、各々に合った働き方を考えます。</li> </ul>
大学院工学 研究科長 清水 真	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 私は工学研究科内および学内において、良きモデルとなるよう、充実した仕事、私生活および人生を送る「イクボス」を目指します。</li> <li>— 学生および職員が学習、研究および仕事と生活の調和を保ち、一人ひとりがその能力を発揮できるよう環境を整えます。</li> <li>— 地域に密着した大学の使命を果たすため、次世代を担う学生の健全な育成に努めます。</li> <li>— 工学研究科から数多くの若手・女性研究者を輩出できるよう、人材の育成に努めます。</li> </ul>

<p>大学院生物資源学 研究科長 梅川 逸人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 教職員間のコミュニケーションを深め、職場の全員が協力して職務に取り組めるよう努力します。</li> <li>— 業務の効率化を行い、休暇を取りやすい職場環境を創ります。</li> <li>— 時間外勤務を軽減するよう努力します。</li> <li>— 男性教職員の育児参加に職場全員で協力します。</li> </ul>
<p>大学院地域イノベーション学 研究科長 小林 一成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 私は、地域イノベーション学研究科のすべての教職員が、楽しく仕事をし、余裕のある生活を送れるよう力いっぱい応援する「イクボス」になります。私自身、仕事も生活もトコトン楽しむことを誓います。</li> <li>— 余裕ある生活を楽しめなければ、仕事で良い成果をあげることはできません。ワーク・ライフ・バランスを常に考え、すべての教職員がそれぞれのキャリアと人生を互いに応援しあうことを地域イノベーション学研究科全体の取り組みにします。</li> <li>— 私は、地域イノベーション学研究科のすべての教職員が、遠慮することなく、連続休暇や長期休暇をとるための環境整備に努めます。欧米では、ボスが数週間ものバカンスを取るのが当たり前です。私自身が率先して連続休暇を取ります。</li> <li>— ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画の精神を理解した若者を育てることは、この国が正しく豊かになるためにどうしても必要です。地域イノベーション学研究科では、以上のような私たちの取り組みを若者たちにも伝えます。</li> </ul>
<p>医学部附属病院長 伊藤 正明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 職員一人ひとりがイクボスの趣旨と取り組みを理解し、いきいきと働き、活躍できる職場環境づくりを進めます。</li> <li>— 私は教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を支援し、「職場も元気！家庭も元気！」を目指します。</li> <li>— 私は女性・若手教職員のキャリア形成と人材育成を進め、組織の活性化を推進します。</li> <li>— 自らも率先して仕事と家庭の調和を実践し、充実した人生を楽しみます。</li> </ul>
<p>理事(総務・財務担当)・事務局長 尾藤 広幸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 私は、職員がいきいきと働き、充実した生活を送ることができるよう、仕事と家庭の両立を応援するイクボスになります。</li> <li>— 仕事と家庭の両立のため、業務の効率化や時間外勤務の軽減に取り組めます。</li> <li>— 組織の業務が円滑に進むよう、組織内の情報共有、チームワーク、協力体制の醸成を図ります。</li> <li>— ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた理解が進むよう、啓蒙活動や職員間のコミュニケーションの向上に取り組めます。</li> <li>— 職員の個々の事情を理解し、様々な状況に応じた組織運営や休暇の取り易い職場環境を目指します。</li> </ul>